

# 農業政策と

## 姉妹都市・友好都市

町田 昌弘 議員

(志政会)

### ◆農地法改正に関する現状と課題

①農業生産物の状況は。②耕作放棄地の現状と対策について、不在地主の割合を含めて説明願いたい。③農業委員会では、農業経営基盤強化促進法で農用地利用集積計画を定め、貸し借りや売買を手伝っているが、扱った件数や面積、活動内容は。④過去5年間の他業種からの新規就農者は何人か。新規参入者の受け入れ体制の整備についての見解は。⑤東京狭山線に農産物直売所を設置するよう各方面に働きかけを。⑥農地法改正が今後に与える影響をどう考えるか。農業の変換期を迎え、地域全体に利益をもたらす農産物直売所の実現を期待している。

### 市民部長

①昨年度は、1位が里芋で2千37ト、以下ホウレンソウ921ト、水菜609トである。④昨年度に1名であった。受け入れは、農業委員会やJAいるま野などで新規就農者確保対策委員会を設けている。⑥地域農業の振興発展から、地域農業者の理解と協力を得て法人などの参入を進めたい。

### 農業委員会会長

②今年度は13万4千936㎡、所有者に文書指導した。不

在地主の割合は28・3%。③昨年度は33件、47筆、6万3千130㎡であった。農業委員などによる農地の貸し手と借り手の調整や広報紙、農林だよりに農地の貸し借りを掲載している。

### 市長

⑤地産地消の推進や生産者と消費者の交流の場など農業の振興発展に寄与し、地域の振興発展につながると考え、積極的に支援協力していきたい。

### ◆成果、教育の観点、今後の方針

①姉妹都市、友好都市の成果は。②市民同士の自発的な交流が理想的だが、把握している事例は。③小・中学校の宿泊学習として、津南町の利用状況は。④市民参加の国際交流についてどう考えるか。市民へ視線を向けた交流が継続されるよう願っている。

### 市民部長

①市民主体の交流事業が展開され、市民レベルの交流が図られたことが評価できる。②市が補助金を交付している事業、国際交流協会が実施する事業。④国際交流協会と連携し、市民主体の異文化交流、相互交流に努めてきた。今後も市民の国際感覚の醸成を図るため事業を支援していく。

### 学校教育部長

③狭山台南小学校、狭山台北小学校、堀兼中学校の3校。



# 駅前地区センターの

## 土・休日開館を

栗原 武 議員

(未来フォーラム)

### ◆インセンティブ(報奨)予算制度の導入について

①制度導入に当たった際の検討状況と基本的な考え方として重要な点は。②インセンティブの配分方法と付与する充当先の考え方は。③事務事業の対象範囲と提案に対する評価の仕組みの考え方は。

### 総合政策部長

①有料広告に係る収入を対象に実施した。本格導入に向け対象の拡大など検討する。職員にコスト削減や創意工夫の意識を持たせることで、歳入増加や歳出削減になると考える。②捻出された財源の2分の1程度を配分し、活用は部の裁量に委ねる。③効果が具体的に把握できるものが対象で、先進性、継続性、難易度、効果達成度などの基準を作成し、評価する。

### ◆窓口サービスの向上の推進と住民票などの交付機会の拡大について

①手続き窓口の集約化のシステム見直し状況とアンケート調査に基づく窓口業務の改善状況、市民満足度の状況は。②狭山市駅西口公益施設内に新たにできる市民サービスコーナーは、駅前の利便性も考慮し、土曜日、休日や夜間

の各種証明書の発行などができるようになる必要があると思うが。

### 総合政策部長

①情報化基本計画を策定しており、ワンストップ窓口検討専門部会で窓口の集約化を検討している。3月に実施した調査では、待ち時間、職員の状態など5項目に5段階評価で、平均4・10ポイントの結果が得られ、昨年と比べて0・03ポイント下回った。結果は、広報紙とホームページで公表し、意見などは関係課に通知し、改善策を検討して窓口業務に生かしている。

### 市民部長

②西口公益施設の利用性などを考慮し、土・日曜日のいずれかで検討する必要があると考えている。

### ◆コールセンターの導入について

市民サービスの向上には大いに寄与できるが、市民と市職員との接点が減少し市民改革との乖離が懸念される。情報化計画との兼ね合いも含め、現時点での検討状況は。

### 総合政策部長

情報化基本計画を策定する中で、ワンストップサービスの形態として検討しており、本年度中には今後の方向性を明確化したい。



窓口サービスの向上を

# 用水路の整備、

## 西中隣接道路拡幅

猪 股 嘉 直 議員

(日本共産党)

### ◆用水路の管理について

昨年市長が答弁された点がどのように進んだか。

- ①「用水路の維持管理や改修等のあり方についての研究」の到達点は。
- ②「用水路の管理の上で地区センター、まちづくり推進会議、自治会などとの連携」の到達点は。
- ③用水路の除草について。年に2回行っているところが激減している。2003年度は47カ所のうち13カ所で2回の除草、ところが今年の計画は66カ所中5カ所。除草についての方針は。
- ④総合振興計画の後期計画が2011年から始まるが、後期計画の中で、用水路の除草など管理方針は。当面の除草対策に必要な予算投入を。考えは。

### 副市長

- ①コスト縮減と市民参加による維持管理を検討する。生態系や河川環境の保全や創造に配慮した改修で計画段階から市民との協働で実施する。
- ②地域の実情や歴史・文化を生かしたまちづくり、良好な水辺環境の保全に取り組むためのまちづくりの一環として市民と行政が連携することが必要。

### 建設部長

- ③用水路の機能や自然環境

の保全、安全で良好な生活環境の確保地元の意向に配慮して効率的な除草方法の採用および除草草価の見直しを行い、地域の実情に応じ実施したもの。

④環境・農政・雨水対策などの施策の中で調整を図り、地域の特性を配慮し、市民参加による関係者との協働を基本に予算確保と適正な維持管理に努める。

### ◆広瀬地内の道路と用水路の整備

武蔵野銀行狭山西支店から、太田マタニティクリニックを経て西中学校とつづじ野団地3街区につながる道路と用水路の整備を。長年の懸案事項で解決の動きが見えない。市としての方針は。特にクリニックから西中学校手前までの道路が狭くて危険(写真参照)。

道路の南側は用水路の水路敷で雑草などが繁茂。周辺自治会からも整備の要望。道路南側の一段低い住宅地に雨水などでの迷惑をかけずに、道路の拡幅と整備を一刻も早く行うように。

### 建設部長

現状は水路敷地のため、雨水処理・道路線形の調整や地権者の同意を得て、一般市道整備計画に位置づけ整備を検討したい。また、水路敷部分の暫定整備は関係部署と調整を行い、高低差・水路敷地・交通の安全性などの課題を調整して、整備を検討したい。



拡幅調整が必要な道路と用水路

## 一 般 質 問

### 新型インフルエンザ 対策について

新 良 守 克 議員

(志 政 会)

有の疾病を持つ方に多く感染している。狭山市は高齢者密度も高く高齢者施設もあります。集団感染の対応策を伺います。

### 市民部長

①これまでに危機対策会議を11回開催し、再流行に備えている。職員には、庁議やイントラネットで感染防止の周知を図っている。

### 保健担当部長

- ①新型インフルエンザ対応ガイドラインにおける活動経過と危機管理会議の開設状況は。職員に対しても対策について周知徹底されているか伺います。
- ②抗インフルエンザウイルス薬が不足する中で、予防接種を含めた対策を伺います。
- ③急患センターは多くの市民に利用されていますが、新型インフルエンザのピーク時には現在以上の対応が必要だと考えられるが、何名の医師・看護師が拡充されるか伺います。
- ④小さな子どもは生命を脅かす危険が考えられますが、迅速適切な体制は可能なのか。また、疑わしい症状などの発熱電話相談窓口として24時間対応できる相談体制は可能か伺います。
- ⑤学校では集団感染の恐れがありますが、現在までの発生状況と対策について伺います。
- ⑥今般のインフルエンザは高齢者特



な場合は、保健所などと協議し臨時閉館なども検討する。介護保険施設でも同様の対応をしているが、各施設でマニュアルを作成しており、情報の共有化を図りながら支援するとともに、保健所などと協議し適切に対応していく。

**学校教育部長** ⑤9月1日から7日までの欠席者は、幼稚園2名、小学校14名で学級閉鎖は1学級。感染予防対策は、毎朝家庭で検温し登校すること、来校者にアルコール消毒の協力依頼、手洗い、うがいの励行など徹底を図る。